

自然感

くすのき



yumi



蝦夷鶉
小紋鶉
熊野水木
大瑠璃

薄・芒 白山菊 犬薺 姫薺 野紺菊 秋麒麟 廣葉草 泡立草 aiko.
あはな しろきく あかあま ぎく くのく せきぎん ひろはく かわたけ

○ 足もとの草むらでは、黄色・薄紫色・白色など、とりどりの草花が咲き始める季節が始まりました。そして木々の枝先には、小鳥たちサイズの実がたわわにみのり、森は、なんだか楽し気な雰囲気になりますね。 aiko

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会 (131回)

日時 9月17日(土) 10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

9月18日（日）10月16日（日）
 天拝山探鳥会（筑紫野市）
 時 間：8:00～11:00（10月は9:00～）
 集 合：天拝山歴史自然公園
 問合せ：090-7165-5026（重松）

9月25日（日）10月23日（日）
 久末ダム探鳥会（福津市）
 時 間：9:00～12:00
 集 合：久末ダム多目的広場横
 駐車場（管理事務所下）
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

10月2日（日）
 今津探鳥会（福岡市西区）
 時 間：9:00～12:00
 集 合：玄洋高校西側道路
 問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

10月8日（土）
 大濠公園（福岡市）
 時 間：9:00～12:00
 集 合：ボート乗り場前
 問合せ：092-834-8644（持永俊行）
 注）11月は公園の都合で5日に変更。

9月11日（日）10月9日（日）
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）
 時 間：9:00～12:00
 集 合：JR 和白駅前の公園
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

10月4日（火）
 県営春日公園（春日市）
 時 間：10:00～12:00
 集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

9月25日（日）
 高良山（久留米市）
 時 間：9:00～12:00
 集 合：高良下宮社
 問合せ：090-4357-3043
 （溝田泰博）

福岡植物友の会

9月18日（日）
 毘沙門山（福岡市西区）
 問合せ：佃 昇（092-662-2983）
 参加は有料 要予約

久留米の自然を守る会

10月16日（日）
 ネイチャーゲームの会と久留米の
 自然を守る会の合同
 時 間：9:30～
 集 合：森林公園駐車場
 問合せ：(0942-43-7959) 河内俊英
 ふるってご参加ください

うろこ雲 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

10月1日（土）
 集 合：九州歴史資料館
 第1駐車場
 時 間：9:30～12:00
 （早めに終わるかもしれません）
 問合せ：092-920-3072
 参加費：大人 200円
 コロナ対策：ブログにて確認
 ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
 検索
 観察会や様々な生きもの情報を載せて
 います

和白干潟を守る会

9月24日（土）
 定例会議
 時 間：12:00～14:00
 集 合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9月24日（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時 間：15:00～17:00
 集 合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



ルリモンハナバチと
 スジボソフトハナバチ 三国・松永

2022年8月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、8月1日(旧暦7月4日)~8月31日(旧暦8月5日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



8月7日(旧暦7月10日) 筑紫野市山口天拝湖
今年4月に、巣とペアのコシアカツバメを確認したが、その後、巣が壊され一時姿を観なかった。今回また巣が作られ出入りは確認できたが、繁殖したかはよくわからないまま。たまに見に行くだけでは何も見えてこない。



8月7日(旧暦7月10日) 筑紫野市天拝坂
居間のすぐ前に突然巣作り。2cm以上のセグロアシナガバチのようだ。小学生の頃、刺されて腫れ上がった記憶がよみがえる。生態系には大切な生き物だが、ちょっと近すぎる。



8月15日(旧暦7月18日) 筑紫野市天拝坂
終戦の日の正午のサイレンを聞いた後、南側の空をふと見たら彩雲が見えた。ありふれた気象現象に過ぎないが、なんだか不思議な気がした。数分後、青みを増しながら消えていった。



8月18日(旧暦7月21日) 筑紫野市天拝坂
昨年8月にも、このフェアリーリングの記事にした。今年も一回り大きな輪になって発生した。キノコ菌が同心円状に増殖し芝が繁ったり枯れたりするらしい。同じイネ科の米、麦作りにも活用する研究があるようだ。



8月27日(旧暦8月1日) 筑紫野市天拝坂
突然に現れた。というか私が見つけてしまった。自宅駐車場の仕切り塀の高さ2m程の所。コガタスズメバチの巣だ。隣家の勝手口の真ん前だ。これは怖い。即、業者に撤去を依頼した。昨年の3倍の依頼が来ているらしい。



8月30日(旧暦8月4日) 宗像市さつき松原海岸
ハマゴウの花。ユーカリとミントの混ぜたような香りがする。好きな匂いだ。浜香とも書く。葉を焚いてその煙を、仏にささげたという。砂丘には、他にネコノシタ(ハマグルマ)の黄色い花が咲いていた。

会員からの投稿(1) 廣 伸俊

四王寺県民の森で一般市民の方々や自然大好きグループ（こもれびサークル）の仲間と森歩きやデイキャンプ、ネイチャークラフトなど「自然を五感で感じよう」をメインテーマに森林体験活動をしています。



会員からの投稿(2) ウメノキゴケ 洪田和美

草木染の染料に使うので、落ちていたら拾ったりします
この苔が生えるということは、木が良くない状態というのを聞いたことがあります
枝ごと落ちていたので観察してみると、中は空洞のような感じで、すかさずかきました
木が弱るとコケが生えるは本当なのかとも思いながら見てました
8月28日 福津市津屋崎



会員からの投稿(3)

窓越しの自然観察 50 ～ 一期一会 24 ～

連日、30度を超える暑さは続いているが、いつの間にか、ワシワシは消えて、樹々は少しずつ色を変え始めました。八月初めに早くツクツクホウシの声が聴きたいと言った3日後(8/5)に早速、法師の声。周辺の樹木の多さの割には、蝉しぐれと言うほどではなく、声はすれども姿は見せず、でしたが、つい目の先に飛び込んできたのは、遥か昔に見たきりのツクツクホウシです！慌てて、一枚シャッターを切る間大人しくしてくれました。

九月に入ってまた、庭先で騒音。見ると、再び油蟬とカマキリの攻防？です。今回は、カマキリ優勢で1時間以上も口から離すことなく油蟬の最後を見ることになりました。

暑くとも夏はそろそろ終わりの気配です。

(ダムサイト住人 2022.9.5記)



春日公園自然観察会 令和4年08月20日(土)【参加者数】6人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。

観察内容 参加者の目線で気になる生きものを主に観察しました。

植物 メヒシバ、オヒシバ、ヒマラヤスギ、コミカンソウ(実)、ヒナギキョウ、ノシラン(蕾)、サンシュ(実)、エノキグサ、サルスベリ(花)、サンゴジュ(実)、ネコハギ、コニシキソウ、ニシキソウ、ウリクサ

昆虫 シオカラトンボ、ギンヤンマ、ウスバキトンボ、ベニトンボ、ショウジョウトンボ、アブラゼミ、クマゼミ、

野鳥 メジロ、キジバト、スズメ、ヤマガラ、ハクセキレイ、シジュウカラ、ムクドリ、アオサギ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、

感想(参加者の声)

- ・コミカンソウの種を拡大鏡で観察できた。
- ・ベニトンボの正面顔をじっくり観察できた。
- ・エノキグサ、コニシキソウ、ニシキソウを確認した。
- ・クマゼミの抜け殻の♂♀を観察できた。
- ・赤いトンボ(ショウジョウトンボ)を観察した。
- ・サルスベリの花をじっくりと観察できた。
- ・熟したサンゴジュの実が少し甘かった。



観察会を開始する風景



ベニトンボ♂



ウリクサ



クマゼミの抜け殻



サンゴジュの実



サンシュの実 左 7/20 右 8/20



コニシキソウ



じっくり観察したサルスベリ



以上

お知らせ

10.2 シンポジウム

つくろう 風通しのよい福岡市

10/2(日)

12時30分～16時20分

1.会場 福岡市中央市民センター

4階ホール(福岡市中央区赤坂)

2.入場料 1200円

問い合わせ先: 須崎公園の大木を

まもる会/担当 今村

電話 092-710-7317

シンポジウム テーマ 「つくろう! 風通しのよい福岡市」

第一部 問題提起 今、福岡市で起きていること 13時05分～13時35分

- ① 環境保全・生物多様性保全で起きている問題 (10分)
勝瀬志保氏 (2008年から大濠や舞鶴の自然観察を継続。「大濠の季節」等、著書多数)
- ② 住環境で起きている問題 (10分)
池永修氏 (原発・住環境問題等々に数々取り組んでいる市民活動の味方。弁護士)
- ③ 子育ての環境の中で起きている問題 (10分)
嶺村久美子氏 (福岡県保育センター事務局員。自宅でなかよし文庫を開設して35年)

第二部 基調講演 13時35分～15時05分

- ① 嘉田由紀子氏 (45分)
「人がよりよく生きていくための環境保全の大切さ」
- ② 福岡浩彦氏 (45分)
「風通しの良い市民の市政を作るには?」



「福岡浩彦氏プロフィール」 鳥取県生まれ、65歳。1995年38歳で千葉県我孫子市長に。市民自治を理念とした自治体改革を進める。3期12年で自ら退任、中央学院大学教授に。2010年から2年間は、民間から政府に入り消費者庁長官。原発事故の下、自治体と連携して食の安全に取り組む。現在は大学に復帰。著書に『最先端の自治がまちを変える』(朝陽会)、『市民自治』(ディスカヴァー携書)、『市民自治の可能性』(ぎょうせい)など。

「嘉田由紀子氏プロフィール」 1950年埼玉県生まれ。農学博士。専門は環境社会学。前滋賀県知事、びわこ成蹊スポーツ大学学長、現参議院議員。琵琶湖研究所、琵琶湖博物館において琵琶湖周辺での暮らしと環境について30年以上、フィールドワークを続ける。著書『水と人の環境史』(共著、御茶ノ水書房)、『生活世界の環境学』(農文協)、『水辺遊びの生態学』(共著、農文協)、『水辺ぐらしの環境学』(昭和堂)、『環境社会学』(岩波書店)、『流域治水がひろく川と人との関係』(農文協)ほか多数。



第三部 パネルディスカッション 15時15分～16時15分

「風通しの良い市政・住みやすい環境の福岡市にするには?」

※ 問題提起者三人と基調講演お二人の5名での討論です。



チケット代金
前売り券 1,000円 当日券 1,200円

須崎公園の大木の大木を守る会 Facebook



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2022年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

切手を寄付:84円を100枚受け取りました。新田繁子さん感謝します。

定例会に参加してみませんか?

次回の定例会は、令和4年10月14日(金)午後2時より事務局で行います。令和4年10月号の原稿は、10/11(火)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2022年8月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。台風11号、珍しい動きをしたようです。9/5夜中風のすさまじい声を聞きました。通過した後、油山で木の実をたくさん拾いました。実は固く、食べるには少し時間が必要です。



9/6 福岡市城南区 撮影:田村耕作